

公表：令和4年3月1日

事業所名 ドリーム前田

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数やレベルに応じて活動内容や場所を考慮し療育を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児の特性に応じて役割分担をして配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			発達段階に合わせて視覚教材を用いたり、構造化された環境を作ることで、お子様が理解・行動しやすい配慮を行っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			室内清掃、玩具の消毒を行っている。空気清浄機を設置し児が快適に過ごせるようにしている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			目標を設定し、職員間でその日のうちに振り返りを行い、改善できる点を話し合っている。関わり方の統一を図り次の目標設定を実施している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を踏まえ、保護者からの要望等に沿えるよう、療育内容や業務の見直しをしている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページ上で公表している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内外の研修に全員が参加をしている。今年度はオンラインにより実施	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談時に保護者との情報共有している。年代別のアセスメントシートを用いて、児の発達段階を把握し計画に反映させている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年代別のアセスメントシートを使用している。半年に一度の見直しを行っている。	アセスメントシートは内容を定期的に見直ししていく。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			それぞれの項目に合わせて各連携機関への訪問や、定期的な電話連絡での情報共有に務めている。 家庭支援においては、送迎時や面談時に児の様子を聞いたり、事業所での様子を伝えるなど情報交換を行っている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に基づくように療育内容を検討している。また、記録記入時も参照するようにしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者がプログラムを立案し、スタッフ間で意見を出し合いながら行っている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの作成後は児発管やリーダーが確認を行い偏りがないようにしている。	
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			職員間で児の発達段階を明確にし、アセスメントシートや日々の記録等から、児の特性を把握し計画を作成している。		

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前には必ず打ち合わせをしている。担当職員が中心となり、利用人数や状況に応じて活動内容を検討したり、役割を明確にしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に振り返る時間を設け、関わり方や活動内容等について検討し、次の支援に活かせるようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録の他に、保護者からの連絡事項等も残すようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度、また必要に応じて支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて出席している。また、文書の提出を行うこともある。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センター、区、児相等と連携を取り、児童に関する情報共有に努めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		担当看護師、医師と情報交換を行い、児に対して必要な支援を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療機関とは連絡体制が整っている。児の体調を常に注視し、悪化時にはすぐに母に連絡がとれるようになっている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポートファイルで情報提供を行ったり、必要に応じて連携会議等を開催し、児に関する連携に努めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポートファイルで情報提供を行ったり、必要に応じて連携会議等を開催し、児の情報を共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターと定期的に情報交換を行ったり、機関支援の助言を受け療育に活かしている。また研修にも参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		例年は系列の保育園と交流する機会があったが、現在はコロナ感染予防のため控えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		必要に応じて参加をしていたが、今年度はコロナ感染予防のため控えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時で情報交換を行っている。また、面談を実施し、保護者と児の発達について共通の理解ができるように努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者の困り感や育児負担の軽減に繋がるように必要に応じて助言を行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず説明をしている。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			支援計画作成時に面談を行い、児の現在の様子や今後の支援に向けて保護者と情報交換を行い了承を得ている。		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談以外にも、随時、電話や連絡帳でのやり取りの中で、相談に応じるようにしている。		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			例年は親の会（メンターさん）の協力のもと、定期的に茶話会を実施していたが、今年度はコロナ感染防止のため開催を見合わせている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				保護者からの申し入れ時には出来るだけ迅速に対応し、具体的に案を出し説明し了承を得るようにしている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				ブログや事業所通信等定期的に発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				児の思いを受容・共感し、寄り添いながら適切な支援に努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			例年は、地域の方と繋がりができるよう、町内会の行事等に参加していたが、今年度はコロナ感染予防のため、控えている。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				マニュアルを作成し見直しや整備を行っている。対応の方法を周知するために、月に一度訓練を行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				月に一度、想定される災害に対する避難訓練を行っている。	全利用児が経験できるように、曜日を変えて行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				契約時に必ず細かな生育歴を聞き取りし、その後発生した場合は報告してもらうようにしている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				契約時に必ず確認している。全体で周知すると共に、その後発生したものに關してはその都度報告をしてもらうようにしている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリ・ハット事例を会社の全体ミーティングで報告し、事業所内で共有し再発防止に努めている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				虐待防止委員会が中止となり定期的に研修を実施し、虐待防止便りを発行し虐待の認識を高めるように努めている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				現在まで、拘束を必要とする場面がない。拘束しない対応方法を常に検討している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和4年3月1日

事業所名 ドリーム前田

	チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		どちらとも いえない				
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や年齢に応じて活動内容やスペースに配慮している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			児の特性に応じて役割分担をして配置している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			障がいの特性に応じて、視覚化したりフロア内を仕切るなど環境整備に配慮している。	現在、通所されている児に応じた配慮をしている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCA、リサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で振り返りを行い、改善できる点を話し合い、次の目標設定を実地している。	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果を基に、ニーズ等（意見や要望）を把握し、活かすよう努めている。	
	⑥ この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページ上で公表している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内外の研修に全員が参加をしている。今年度はオンラインにより実施	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	○			面談時や送迎時に保護者との情報交換を行い、年別別のアセスメントシートを用いて計画に反映させている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年別別のアセスメントシートを使用している。半年に一度の見直しを行っている。	定期的にアセスメントシートの内容を見直ししていく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で意見を出し合いながら担当が活動表を作成している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの作成後は担当者が確認を行い偏りがないようにしている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			通常用の活動表と長期休み用の活動計画書を分けて作成している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団生活を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成しているか	○			特性を把握し、児によっては個別中心の活動を行っている。集団活動は毎回実施し記録をとっている。当日の児の様子を見て内容を調整している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前に申し送りを実施。目的や配慮すべき点など、児に対しての共通理解を図っている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			個人記録や業務日誌を記入し、全体に周知できるようにしている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録以外にも保護者からの聞き取りなどを記録に残すようにしている。	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、また必要に応じて支援計画の見直しを行っている。		
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			基本活動（自立支援、創作活動、社会経験等）を組み合わせ、計画を立て支援を行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		児の療育を中心として行っている職員が参加をしたり、管理者が参加をしている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調査（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時や電話等で情報を共有している。	
	22	医療内ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	○		担当看護師、医師と情報交換を行い、児に対して必要な支援を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で状況共有と相互理解に努めているか	○		サポートファイルにて情報提供を行ったり、必要時は連携会議等を開催し情報共有や相互理解を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			対象児がいまい実施していないが、必要に応じて対応したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機関支援の助言を受け療育に活かしている。また研修にも参加をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			例年、児童会館の行事に参加をしたり、長期休みに企画し交流の場を設けていたが、今年度はコロナ感染予防のため控えている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			必要に応じて参加をしていたが、今年度はコロナ感染予防のため控えている。
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳、送迎時、面談、電話等で、保護者との情報交換を行っている。	
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の上昇を図る観点から、保護者に対してペアルートワーク等の支援を行っているか	○		保護者の困り感や育児負担の軽減に繋がるように必要に応じて助言を行っている。	
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に必ず説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談や電話、送迎時、連絡帳などで保護者からの相談に応じている。	
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			例年は親の会（メンターさん）の協力のもと、定期的に茶話会を実施していたが、今年度はコロナ感染防止のため開催を見合わせている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの申し入れ時には出来るだけ迅速に対応し、具体的に案を出し説明し了承を得るようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	○		ブログや事業所通信等定期的に発信し、日々の様子を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報等が記載されている文書等の取り扱いには十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		出来る限り本人、保護者の思いを受容・共感し、寄り添いながら適切な支援に努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方と繋がりができるよう、町内会の行事等に参加していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に向かって周知しているか	○		マニュアルを作成し見直しや整備を行っている。対応の方法を周知するために、月に一度の訓練を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度想定される災害に対する避難訓練を行っている。	

非常時等の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会が中心となり定期的に研修を実施し、虐待防止便りを発行し虐待の認識を高めるように努めている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在まで、拘束を必要とする場面がない。拘束しない対応方法を常に検討している。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に事前に聞き取りを実施している。全体で周知すると共に、その後に発生したものに關してはその都度報告をしてもらうように	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリ・ハット事例をミーティングで報告し、事業所内で共有し再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。